

ビジュアルコミュニケーションシステム

Live On®

導入事例

利用目的：社内会議 社員研修・研修配信 社内イベント

業種：卸小売・販売

社員規模：100名以下

 株式会社スエヒロ様

LiveOnの導入により情報共有とコミュニケーション頻度が飛躍的に向上。
社内の一体感の醸成にも大きな効果を発揮。

設立：昭和36年7月17日
資本金(出資金)：27,000千円
従業員数：93名（令和3年4月現在）
本社所在地：東京都足立区綾瀬5丁目24番5号
事業内容：消防・防災設備機器、消防用設備の販売・修理、設計・施工・保守点検など
URL：<http://www.119suehiro.co.jp/index.html>



株式会社スエヒロ
代表取締役社長 道畑仁志様

導入前の課題

- ・業務の進め方や進捗が拠点ごとに異なっている
- ・必要な情報が全拠点で共有できていない
- ・拠点ごとのカラーが強く、企業文化が定着していない

LiveOnで解決！

- ✓ 情報共有の頻度が上がり、業務の標準化を実現
- ✓ 距離の壁を越えて均一な情報共有が可能に
- ✓ コミュニケーションの頻度が上がり、社内の一体感を醸成

 導入前の課題

必要な情報が全社で均一に共有できない

消防用機器の販売、消防用設備の点検など、消防・防災にまつわる総合的な業務を展開する株式会社スエヒロでは、拠点間の会議・情報共有ツールとしてLiveOnを活用している。

関東圏ならびに島根県に営業拠点を展開する同社では、LiveOn導入以前は、物理的な距離や時間の問題から会議の時間や頻度が限られていた。そのため、業務の進め方や進捗が拠点ごとに異なり、必要な情報も全社で共有することが難しかったという。特に遠方の拠点には情報が届きにくく、社内の情報格差も課題となっていた。

拠点ごとのカラーが強く、社内の一体感が乏しい

また、社内の風土や文化に至っても拠点ごとのカラーが強く、会社としての一体感が乏しいという課題も抱えていた。それぞれの拠点でカラーがあることも重要であるが、核となる文化やビジョンを共有、定着させる必要がある。そのためにはコミュニケーションの頻度と質を上げ、社内の一体化を図る必要があった。

 LiveOn選定の決め手

品質面・サポート面の評判の良さが決め手

Web会議システムの選定を進める中で、LiveOnを導入している取引先があり、品質やサポート面の評価が非常に高かったという。事務所を訪問し、LiveOnを使用している様子も見学してもらったところ、品質や使い勝手の良さを実感することができた。実際にLiveOnを導入している企業からの評判は非常に説得力があり、安心感と信頼性が選定の決め手となった。

ご活用用途

拠点間会議・研修配信を中心に日常的に活用

主に拠点間会議・研修配信に活用している。これまでは本社に集まって会議をしていたため、頻度も月に1度が限界で、かつ参加メンバーも幹部のみに限られていた。LiveOnの導入により会議のための移動が不要になったことで、役職や職種を限定せず、各階層や部署単位で日常的に細かく会議や打ち合わせが行えるようになった。



入社式の配信や会社説明会も LiveOn で実施

新型コロナウイルスの影響で集合しての実施が難しくなった際には、入社式をLiveOnで各営業所に配信した。また、採用活動における学生向けの会社説明会もLiveOnで実施したという。日常的にLiveOnを活用していたことで、コロナ禍においてもスムーズに他用途に展開し、滞りなく業務を行うことができています。

導入後の効果・感想

移動時間の削減は業務効率化・働き方改革に大きな効果

移動時間を削減し、その時間を本来の業務に充てることができる点は、業務効率化の面で非常に大きな効果を生んでいる。労働環境の改善やワークライフバランスの実現に積極的に取り組む同社にとって、LiveOnはなくてはならないツールのひとつとなっている。

相談や業務改善提案なども積極的に行える環境に

集合して会議を行っていた際は開催頻度や人数に制約があるため、積極的な意見交換が行いにくい環境であったという。その点、LiveOnであれば規模や頻度を気にせずいつでも会議をすることができる。少人数でも気軽に会議ができるようになったことで、相談や業務改善の提案も積極的に行える環境になっている。

コミュニケーションの活性化で社内の一体感を醸成

これまではその拠点の責任者のやり方やカラーに依存する部分が大きかったが、LiveOnの導入により拠点を跨いだ情報共有やコミュニケーションが可能になり、各拠点の良い点や効率の良い業務フローなどを全社で共有できるようになった。情報共有とコミュニケーションの頻度が上がったことで、会社としての一体感の醸成に大きな効果を発揮している。

LiveOnを活用した今後の事業展開など

導入当初から積極的にLiveOnを活用し、非常に満足して使用している。さらなる活用のためにライセンス数を大幅に増やしたので、社外とのやり取り、消防設備点検の遠隔現場支援、時間外勤務の見える化など、これまで活用していない用途にも展開し、LiveOnを120%活用していきたいと考えている。

「LiveOn」に関する最新情報は Web サイトでご確認ください。

<https://www.liveon.ne.jp/>

JMS ジャパンメディアシステム株式会社

e-mail liveon@jm-s.co.jp URL <https://www.jm-s.co.jp/>

本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-14-10 第2電波ビル 2F
TEL 03-5297-5511 FAX 03-3252-5234

大阪支店 〒540-6122 大阪府大阪市中央区城見 2-1-61 ツイン21 MID タワー 22F
TEL 06-6947-6800 FAX 06-6947-6363

名古屋営業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 1-16-20 グリーンビル 4F
TEL 052-202-1233 FAX 052-202-1088

仙台営業所 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 1-5-28 カーニープレイス仙台駅前通 6F
TEL 022-726-5080 FAX 022-726-5075

札幌営業所 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 12-4-78 ウエスト12ビル 5F
TEL 011-206-1818 FAX 011-206-1572